

## 博物館経営論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 次の各文の①～⑩の( )について、下の□の中から最も適切な語句を選び、文を完成させなさい。解答欄にはその記号を記しなさい。なお、同じ番号のところには、同じ語句が入るものとする。(各2点)

(1) 博物館法(昭和26年12月1日法律第285号)第23条(入館料等)において、「公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を( ① )。但し、博物館の( ② )のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。」とされている。

(2) 博物館の設置及び運営上の望ましい基準(平成23年12月20日文部科学省告示第165号)において、

第2条 都道府県は、博物館を設置し、歴史、芸術、民俗、( ③ )、自然科学等多様な分野にわたる資料(電磁的記録を含む。以下同じ。)を扱うよう努めるものとする。

2 市(特別区を含む。以下同じ。)町村は、その規模及び( ④ )に応じて、単独で又は他の市町村と共同して、博物館を設置するよう努めるものとする。

3 博物館の設置者が、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により同項に規定する指定管理者に博物館の管理を行わせる場合その他博物館の設置者が当該博物館の管理を他の者に行わせる場合には、これらの設置者及び管理者は相互の緊密な連携の下に、当該博物館の事業の( ⑤ )かつ安定的な実施の確保、事業の水準の維持及び向上を図りながら、この基準に定められた事項の実施に努めるものとする。

とされている。

(3) 我が国の博物館経営に関わる法律や制度改正等の変遷について

年代	できごと
1950年	文化財保護法制定・施行
1951年	博物館法公布
1953年	博物館法制定後、初の実態調査実施。博物館数 201 館園

1970年代	県立博物館新設ブーム
1973年	( ⑥ ) の設置及び運営に関する基準
1980年代	県立美術館、市町村立博物館、企業博物館の新設ブーム
1997年	私立博物館における青少年に対する学習機会の充実に関する基準
1998年	( ⑦ ) の公布
2001年	「今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針（いわゆる「( ⑧ )」閣議決定 各個別法の制定により ( ⑨ ) のミュージアム設立
2003年	博物館の設置及び運営上の望ましい基準 地方自治法の一部改正
2006年	( ⑩ ) の公布
2008年	博物館法改正
2012年	( ⑦ ) の改正

ア. 特定非営利活動促進法 イ. 維持運営 ウ. 骨太の方針 エ. 能力  
オ. 公益制度改革関連3法 カ. 公立博物館 キ. 継続的 ク. 徴収してはならない  
ケ. 産業 コ. 独立行政法人

2. 次の博物館における活動に関する次の各問いに答えなさい。(各2点)

(1) ボランティア活動に関する次の文章を適切な言葉で完成させなさい。解答欄にはその記号を記しなさい。なお、同じ番号のところには、同じ語句が入るものとする。

ボランティア活動は、まず自己の成長のために行う ( ① ) で無償の行為であり、その趣旨が生かされることが重要である。さらにボランティア活動が社会教育施設における諸活動を進める上で一定の役割を引き受ける活動であることを考えれば、そこには常に社会的責任が伴う。ボランティアの人々はこの責任を自覚し、活動に励むことが大切である。

ボランティア活動をさらに広めるためには、人々の参加を容易にする諸条件の整備を図ることが大切である。ボランティア活動を志す人々の中には、好きだからとか何かをやってみたいからというような動機で参加する例も少なくない。ボランティア活動の出発点として、そのような動機は大切なことであり、尊重されなければならない。ところが、実際の活動の中では、活動内容についての知識、技術が必要とされる場合もある。そのために、社会教育施設は、それぞれの施設の特色を生かした養成、( ② ) のためのプログラムを用意すべきであろう。

さらに、ボランティア活動として社会教育施設における学習プログラムの（③）、立案への参加、あるいは各種の相談活動など、高度な（④）を必要とする領域も増えることが予想される。それらの課題に応えるために、研修の高度化を図ることも必要であろう。

また、ボランティア活動の促進を図るためには、ボランティアの人々のまとめ役としての（⑤）の役割が重要になる。（⑤）を養成し、その資質向上を図るための（②）を積極的に行うことも大切である。

ア. 企画	イ. 知識技術	ウ. 専門ボランティア	エ. 教育管理者	オ. 資格
カ. 顕彰	キ. ボランティア・リーダー	ク. 研修	ケ. 自発的	コ. 計画的

（2）博物館法の改正によって、第9条に「当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」という経営評価に関する努力義務が記された。評価では客観的な視点を設けることが必要不可欠である。博物館評価においてどのような客観的な評価があるか、その詳細を100字以内で簡潔に説明しなさい。（10点）

3. 博物館経営にとって重要な以下の事柄について、それぞれの指示に従って説明しなさい。（各10点）

（1）博物館経営の財政において、入館料以外の自己収入源としてどのような事業や取組等が考えられるか。その費目を挙げ、詳細を100字以内で説明しなさい。

（2）一般的に、博物館組織は、博物館活動を司る学芸員が中心となって構成される学芸部門と、組織や施設の維持管理を担う管理部門の2つに大別される。管理部門の業務（例：施設管理、予算、庶務など）を1つ挙げ、その詳細を100字以内で説明しなさい。

4. 多様化する社会の中で、博物館経営においては「連携」の重要性が増している。このことについて、それぞれの問いの指示に従って説明しなさい。（各10点）

（1）博物館と学校、家庭及び地域社会等との連携について、「博物館法」や「博物館の設置及び運営上の望ましい基準」等を参考として200字以内で説明しなさい。

(2) 近年、多様化する学習活動や学習ニーズに応えるために、博物館は社会教育機関を中心とした様々な主体と連携し、ネットワークを構築していく必要がある。このネットワークによる社会教育活動の利点について、連携する機関を以下のア～キの中から1つ選び、その取組の留意点を200字以内で説明しなさい。

ア. 他の博物館・科学館・美術館	イ. 学校教育	ウ. 大学・独立研究法人
エ. 民間企業（研究・製造業）	オ. 行政（国・地方公共団体）	
カ. NPO 法人等任意団体	キ. その他の社会教育機関	

5. アメリカマーケティング協会（AMA）は、2007年10月、以下のマーケティングの定義の改定を承認した。

「マーケティングとは、顧客、依頼人、パートナー、および社会全体にとって価値のある提供物を創造、伝達、流通、交換するための活動であり、一連の制度、そしてプロセスのことである。」

近年、博物館経営においても新規来館者やリピーターの獲得および顧客満足度の向上などにおいて、マーケティング的な視点が重要視されつつある。上記の定義を参考に、博物館経営においてマーケティングをどのように考えるかについて400字以内で論述しなさい。（20点）